

# 赤+字

●発行所 日本赤十字社 千葉県支部  
Japanese Red Cross Society

〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL043-241-7531 FAX043-248-6812  
インターネット・アドレス <http://www.chiba.jrc.or.jp> E-mail: [info@chiba.jrc.or.jp](mailto:info@chiba.jrc.or.jp)

# NOW 2009.12 Vol.17

## 千葉



このキャラクターは赤十字の創始者、アンリー・デュナン(1828年~1910年)です。

赤十字は人の命と尊厳を守ることを目的としたNGO(非政府組織)です。



赤十字思想発祥の地イタリア ソルフェリーノにある「赤十字広場」の赤十字標章

Our world. Your move

赤十字思想誕生150年

スイス人の実業家アンリー・デュナン(赤十字の創始者)は1859年イタリア統一戦争の激戦地ソルフェリーノで悲惨なありさまを目の当たりにし、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない。」と敵・味方の区別なく負傷者を救護し、赤十字の思想を提唱して150年。今や赤十字活動は世界186か国に広がりを見せています。

今こそ、一人ひとりの思いを行動に。

赤十字基本原則

人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

# 新たな赤十字活動の 拠点として



新しい千葉県赤十字会館が完成し、9月17日に落成式を行いました。

日本赤十字社千葉県支部と千葉県赤十字血液センター千葉港出張所が入る6階建ての社屋です。

災害時の危機対応のため、建物には自家発電装置や非常用井戸、被災現場の情報を迅速に収集する災害現場伝送システムなどを設置。無線設備の拡充も図っています。200人収容の大会議室、活動に必要な資機材を備えたボランティア室などを整備しているのも特徴です。



「ギャラリー糸杉」と名づけられた展示コーナーは、来訪者に赤十字の理念や活動を知ってもらうためのもの。赤十字の歴史や国際人道法などを紹介する「知るコーナー」、災害現場の救護所を再現した「体験コーナー」、赤十字へのメッセージを展示した「共感コーナー」、奉仕団活動や献血などへの参加を呼びかける「行動のコーナー」を順に展示しています。

この赤十字会館は、赤十字に関心を持ち、共感を寄せる多くの皆さんの財産です。訪れ、利用した皆さん一人ひとりから、人道の思想が広がり根づいていくことを願っています。

# 「赤十字のひろば」を開催しました

## 赤十字のひろば



千葉ロッテマリーンズ  
大嶺投手によるサイン会

千葉ロッテマリーンズの  
テアリーディング



千葉市立高浜中学校吹奏楽部の演奏(青少年赤十字加盟校)



活動紹介パネル



もっとクロス!



青少年赤十字(JRC)は「気づき・考え・実行する」力を養います

つなげよう

ひろげよう

青少年赤十字

## 青少年赤十字メンバーが 日赤発祥の地を訪れる

7月27日から30日までの4日間、千葉県支部では、青少年赤十字中学生メンバー4名と高校生メンバー4名を九州3県へ派遣し、鹿児島県の青少年赤十字メンバーとの交流会を実施しました。

この交流会は、普段接する機会の少ない他県の青少年赤十字メンバーとの交流を通して、お互いの青少年赤十字活動を知り、千葉県における今後の活動の一助とすることを目的としており、鹿児島県支部を会場として鹿児島県青少年赤十字メンバーとそれぞれの県における活動を発表、意見交換を行い、理解と親睦を深めました。

### 参加した 青少年赤十字 メンバーの声



■この国内交流を通じて、自分はとても成長できたと思います。でも、まだ自分の仕事は終わっていません。これから自分の学校に戻ってJRC活動を活発化するまでが僕の仕事です。

松戸市立河原塚中学校 3年 窪田 真人

■僕は学校へ帰ってから、佐野常民から始まり今も続けられている赤十字の活動を活発にし、まだ戦争で苦しんでいる国の人々を少しでも助けてあげられるように学校同士で協力して、今以上に赤十字活動を盛り上げたいと思いました。

鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校 2年 菊次 健太

■印象に残ったのは、赤十字創立のはるか昔には、すでに敵味方にかかわらず平等に扱う精神が日本に存在していたということです。日本赤十字社の創立者である佐野常民も、その精神を引き継ぎ、敵と味方の傷ついた兵士を助けるために博愛社を作ったといえます。自分にもどんな人にも手を貸す精神を身につけたいと思いました。

鎌ヶ谷市立第三中学校 3年 矢澤 英知

# 「いざ」という時に備えて 災害救護体制を強化しました

## dERU\*を配備

\*domestic Emergency Response Unitの略:国内型緊急対応ユニット

仮設診療所設備とそれを運ぶトラック・コンテナと訓練されたスタッフ、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称



千葉県支部はdERUを配備しました。

このdERUは、日本赤十字社が大規模地震被害想定地域に、計画的かつ重点的に配備しているもので、総機材の総重量は約3トン、麻酔、抗生物質などの医薬品、フレーム式テント、外科用具など医療資機材のほか、診察台、簡易ベット、担架等を積載しています。

1日あたり150人程度の軽症・中等症程度の傷病者に対して3日間の治療が可能となります。



## dERUでの救護活動 (八都県市合同防災訓練)

## 災害救援物資備蓄倉庫を 市川市に建設



県内8か所目となる災害救援物資備蓄倉庫を市川市若宮に建設しました。

地震や台風による災害等に備え、「いざ」というときにいち早く災害救援物資を配付できる体制を整えました。

### □災害救援物資の備蓄状況

毛布	24,060枚
日用品セット	5,660組
ガーゼセット	7,550枚
バスタオル	6,970枚
敷布	7,030枚
収納袋	2,280枚
緊急セット	1,194組
安眠セット	1,467組

※災害救助法が適用されない火災や風水害等の被災者へも、救援物資を配付します。



## 災害救援物資(毛布)



●:千葉県支部の災害救援物資備蓄倉庫

●:地区分区の災害救援物資等保管倉庫

# どうしたらいいの？ 新型インフルエンザの感染予防と対策

～赤十字セミナーinちば2009を開催～



■10月3日、成田イオンホールを会場として、日本赤十字社千葉県支部、成田赤十字病院及び千葉県赤十字血液センター3施設合同による、「赤十字セミナーinちば2009」を開催しました。

このセミナーは、「県民とまったくクロス!」を目的として毎年テーマを設定し、実施しているもので、今年度は、新型インフルエンザ(A/H1N1)に対する日本赤十字社の取り組みと特定感染症指定医療機関である成田赤十字病院の機能及び役割などを紹介し、「感染予防と対策の正しい知識理解の促進」をテーマとしました。

当日は、成田赤十字病院野口博史感染症科部長による「新型インフルエンザについて」の基調講演のあと、「どうしたらいいの?新型インフルエンザの感染予防と対策」というテーマにより、パネルディスカッションを行ったほか、参加者と意見交換を行いました。

## 正しい手洗いの方法



成田赤十字病院  
市民公開講座  
のお知らせ

平成22年2月20日(土)

医療社会事業部  
事業課

臨床心理士 係長  
橋 稚佳子

(仮題)  
がんと告知されたら

成田赤十字病院  
A棟8階 講堂

受講料  
無 料

定 員  
100名先着

お申込み・お問い合わせは 成田赤十字病院社会課 電話0476-22-2311(内線7502)まで

# Song for you

日本赤十字社 presents

**bayfm78**  
LOVE OUR BAY LOVE OUR FUTURE

BAYLINE Go! Go! 毎週金曜日 (16:00~18:55)内

リクエストメッセージ受付 [gogo@bayfm.co.jp](mailto:gogo@bayfm.co.jp)

**On Air**  
毎週金曜日  
17:18頃~17:23頃

千葉県赤十字血液センターでは、12月から2月末日までの3ヶ月間、人気DJ井森美幸さんと流れ星さんをパートナーに、bayfm78でのリクエスト番組を提供いたします。

あなたを支えた音楽、誰かを勇気づけたい音楽やメッセージなどを、電子メールでたくさんお寄せください。

DJ 井森 美幸 さん



DJ 流れ星



ちゅうえいさん

瀧上 伸一郎さん

献血と同様に私たちは多くの人々に支えられ生きていますが、この番組では、あなたの支えになった音楽のフレーズをピックアップします。

辛いときや苦しいときに支えになった「歌のコトバ」を募集してご紹介するとともに、最新の献血情報をお届けいたします。

# 海外たすけあい運動をアピール!



支部社屋投影



NHK千葉放送局での写真展

11月30日から12月4日までの5日間、千葉県支部では、NHK千葉放送局のカルチャールームにおいて、海外たすけあい運動のアピールを目的とした、スマトラ沖地震・津波災害復興支援活動の記録写真展を開催しました。

この写真展は、本社で11月に開催した写真展「Believe in tomorrow明日を信じて」において使用したパネルの中から厳選した20枚を再掲出したもので、NHK千葉放送局を訪れた多くの方々が、足を止め、復興の現状を興味深そうに見入っていました。

また、12月1日の海外たすけあい運動初日夕方からは、9月に竣工した社屋の壁面を利用し、プロジェクターを使用して、高さ6m幅20mの巨大スライドにより赤十字が行っている国際活動の様子や運動への参加呼びかけを投射、近接するJR京葉線の通勤通学者、また、周辺高層集合住宅の居住者や付近の通行者などに対してアピールを行いました。



南小中台保育園児からのメッセージ

## 温かい善意が寄せられました

12月24日には、南小中台保育園園児21名が支部を訪れ、「海外で困っているおともだちに」と、園児がお菓子を買うのを我慢したお金や貯金箱に貯めたお金の一部を集めた総額、3万5千円を支部事務局へお寄せいただきました。

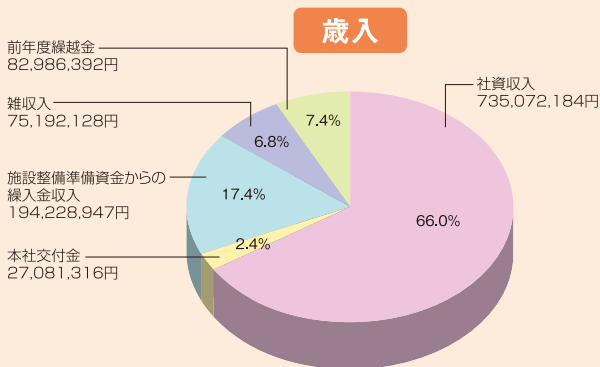
## 赤十字活動へのお礼とご報告

日頃より、県民の皆様には赤十字の活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。お陰をもちまして平成20年度の活動資金は、合計で735,072,184円となりましたのでご報告いたします。日本赤十字社千葉県支部では、皆様からお寄せいただいた活動資金をもとに、赤十字の各種活動を実施することができました。

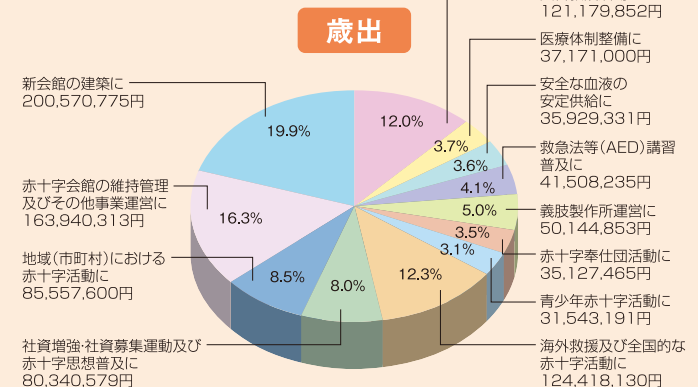
また、本年度につきましても、引き続き赤十字への活動資金にご支援を下さいましたことに、厚くお礼申し上げます。

今後とも、皆様の暖かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 平成20年度 一般会計歳入歳出決算のあらまし



総額 1,114,560,967円



総額 1,007,431,324円

\*歳入歳出差引額107,129,643円は翌年度前期運営資金として繰越し ※平成19年度からの新会館建設に伴う経費計上により、決算規模が例年と比べ増となっております。